

# 廃校施設の活用状況

(平成19年10月1日)

施設の名称	泊村アイスセンター		市町村名	泊 村
<div data-bbox="231 286 368 342" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">概 要</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用 途：社会体育施設</li> <li>・活用開始年月日：平成10年12月 1日</li> <li>・廃校年月日：平成 8年 3月31日</li> <li>・旧 学 校 名：泊小学校</li> </ul> <div data-bbox="231 526 368 582" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">建 物</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構 造：鉄筋コンクリート造2階建</li> <li>・建築面積：4, 242㎡</li> <li>・延床面積：5, 145㎡</li> </ul> <div data-bbox="231 743 392 799" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">運営主体</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名 称：泊村</li> <li>・形 態：地方公共団体</li> </ul>			<div data-bbox="807 743 968 799" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">運営状況</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な利用者：村民・近隣市町村住民 道内外アイスホッケー選手</li> <li>・利用者数：24, 291人 / 18年度</li> </ul>	
-----				
<div data-bbox="231 952 564 1008" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">事業内容・活動状況等</div>				
<p><b>建設理由</b> 近年の生活レベルの向上と余暇時間の増大、更に、村民の体力・健康づくり指向が進む中で、「子供から老人までが年間を通じて気軽に利用できるスポーツ施設」「通過型観光地からの脱却を図るための長期滞在を目的とする宿泊型観光の誘因となる施設」の整備を、村民はもとより観光業者をはじめ関係機関より強く求められていました。こうした中、村民の健康保持増進とスポーツ文化の向上、併せて広域的な交流の推進及び滞在者を呼込むことによる地域経済への波及効果と地域活性化を推進するための具体的方策として、アイスホッケー施設を備えた「泊村アイスセンター」を建設する運びとなりました。</p> <p><b>導入前の現状と問題点</b> 本事業の予定箇所周辺は泊村総合計画後期において、「村民の健康づくり」の拠点として位置付けられており、平成9年～11年度の3か年計画でパークゴルフ場等を備えた屋外施設の公園整備を進めている。しかしながら、現在は、年間を通して村民の体力・健康づくり及びスポーツ振興のための屋内施設として、村内小中学校の専用施設である屋内体育館を開放して便宜を図っているが、施設の設置目的から小中学校の授業、課外活動を優先することから利用者の要望に殆ど応じられない状況にあります。また、村内には民宿や旅館をはじめとする宿泊施設が18軒ほどあり、その殆どが7・8月の夏場の2ヶ月に集中しており、1回につき3ヶ月間続く北電泊発電所の定期点検以外の時期の宿泊需要がほとんどない状況にあり、地元経済に影響をきたしており、更に、国道229号積丹半島全面開通により、一層通過型観光に拍車がかかっている現状であります。</p> <p><b>期待される効果</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域住民の体力・健康づくりとスポーツ文化の向上、併せて広域的な交流による地域の活性化が図られる。</li> <li>②道内外の実業団・大学などの合宿誘致及び各種大会等により夏場及び発電所定検以外の時期の宿泊需要、地元消費の拡大など経済的波及効果が期待できる。</li> <li>③合宿等による長期滞在型観光の促進により通過型観光からの脱却が図られる。</li> <li>④後志及び道南圏に全くなく、道央圏にも少ないアイスアリーナ施設を備えることにより、地域のイメージアップと知名度の向上が図られる。</li> <li>⑤スポーツ観光の推進</li> </ol> <div data-bbox="231 1899 448 1955" style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">場所・連絡先</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 所：北海道古宇郡泊村大字泊村1番地</li> <li>・アクセス：札幌→岩内（バス2：30分）岩内→泊役場前（バス25分）</li> <li>・Tel/Fax：0135-65-2578 / 0135-65-2577</li> </ul>				